

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

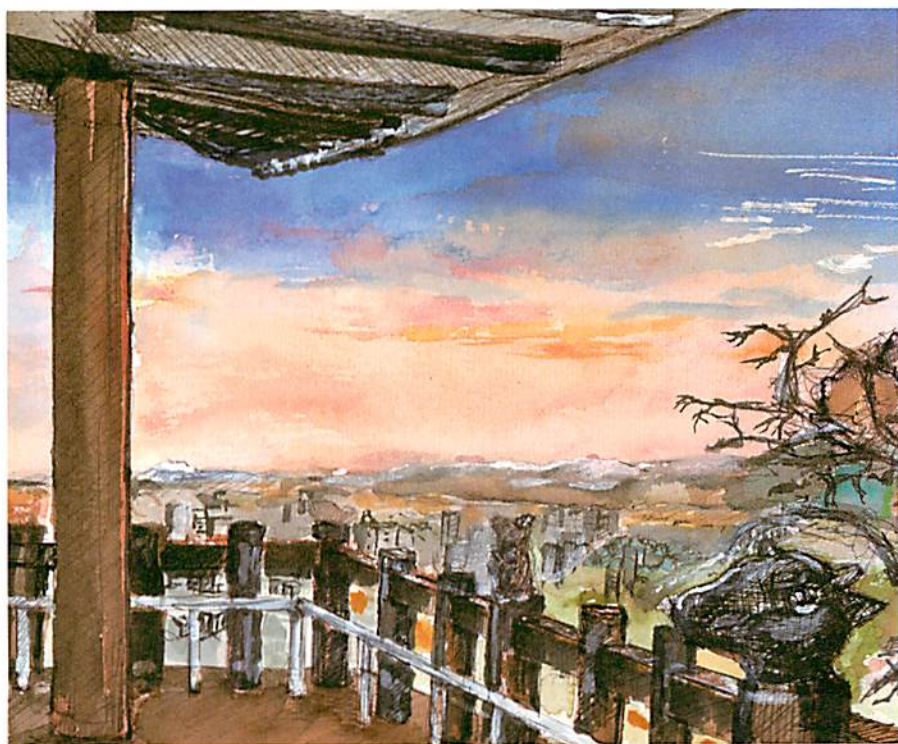
up

'97

新春

号【1、2月合併号】

楽しい学び ますます充実！
市民アカデミー 97年4月入会生会生会員募集迫る
(3・15・16ページ)



いまを話す

初代川崎市市民オンブズマン
大西 千枝子さん
保育・図書館・女の目で改善させる

Stage Up 新春 号もくじ/1997年

■ほんねインタビュー いまを話す

初代川崎市市民オンブズマン 大西千枝子さん

保育・図書館 女の目で改善させる

●はりきつてます グループ紹介

マル七太郎さん
庶民派芸人に学び近況報告で親近感

麻生表現研究会

魂の喜び悲しみ優雅な舞に託し

パランセクサルプリの会

◇学習・文化情報/会員募集

○初めてふれるワープロ講座Ⅲ受講者募集

◆読者の声・編集後記

●'97年4月入学生 かわさき市民アカデミーの

会員・聴講生 募集

◎表紙絵……………枳形山展望台からみた新春

杉本 繁さん

(小誌は再生紙を使用しています)

ノートパソコンによる文章・表・グラフの作成

新百合パソコン講座

受講者募集

●会場 新都心情報センター会議室 (新百合ヶ丘駅下車、新百合21ビル1階)

コ ー ス	実 施 日	時 間	受講料/教材費
はじめてのパソコン入門	2月18日火	いずれも	8,000円/1,000円
ウインドウズ95入門	2月19日水	9時30分~16時30分	
ワードを使ったワープロ初級	2月20日木	9時30分~12時30分	各
一太郎を使ったワープロ初級	21日金 の2日間	13時30分~16時30分	10,000円/1,500円
エクセルを使った表計算初級	2月22日出	9時30分~16時30分	

◆対 象——市内在住・在勤・在学の初心者

◆定 員——各コース10人 (定員を超えた場合は抽選)

◆使用機種——NEC PC98Na15/X14 ウインドウズ95対応

●申し込みは、1月27日(月)~31日(金)9時~17時に ☎(952) 5000の川崎市生涯学習振興事業団

楽しい学び ますます充実!

・97年4月入会生

かわさき市民アカデミー

会員募集は2月1日から 聴講生は3月3日から



野外に出て実践的な環境の学習をする会員

■すべての市民が「川崎がもっと、生きいきとしたまちであってほしい」と思っています。それには、市民自身が豊かな感性と知性を身につけ、市民社会の質を高めることが大切です。

■川崎市民の新しい生涯学習の場として、3年前に設立された「かわさき市民アカデミー」は、市民が「学びあい、高めあう」ことによって、活力ある地域社会の創造に貢献することを願って誕生しました。

数々の講師を囲み、少人数での演習も魅力の



■「かわさき市民アカデミー」の特徴は?

①継続して学べる 入会時に2年間通して学ぶ専攻コースを一つ選びます②掘り下げて学び研究できる 専攻コースは、専門家の助言のもと会員(学生)が自主的に進める少人数の授業、

「演習」があります③出会うよろこびがある 専攻の講座と演習の他に、好きな講座を選択して受講でき、楽しい学園生活があります。

■講師の方々の顔ぶれは?

各分野で活躍中の第一線級の先生方を招いています。

■入会資格は?

18歳以上の方なら、だれでも入会できます(試験はありません)。

■修学期間は?

修学期間は2年間。半年ずつの学期が4学期、1学期は15週間。第1学期は、4月7日(月)~7月19日(土)です。(聴講生は学期ごとに募集)

■どんなコース、講座が始まるの?

4月から新しく始まるのは10コース21講座で、詳しくは1月下旬から配布するパンフレットをご覧ください。

■どこへ問い合わせたらいいの?

日曜日を除く、午前9時から午後5時までに、☎044(422)3932のかわさき市民アカデミー事務局へどうぞ。

いまを話す

ゲスト

初代川崎市市民オンブズマン
大西 千枝子 さん

Vol. 51



——初の川崎市市民オンブズマンの二期六年、本当にご苦勞様でした。今のお気持ちはいかがですか？

大西さん 全力で務めさせていただけ、ほっとした気持ちです。それと大勢の方に助けていただきながらの仕事でしたので、離れてみますと寂しい思いもいたします。

——充実したお仕事だったのですね。オンブズマン制度とは……

大西さん 現代の生活は、福祉や教育などのあらゆる面で行政と関わりがあります。しかし、ときには、受けられるべき利益が受け

られない、あるいは権利が侵害されることが起こります。そんなとき、市民がオンブズマンに苦情の申し立てをすると、無料で迅速に調査をし、中立的な立場で公平な判断を示し処理する、市民の権利や利益を擁護する公的な制度です。

——この制度ができた経緯は。大西さん 長い市民運動の歴史があつたようですが、直接のきっかけは、リクルート事件後の市長選（一九八九年）で、二人の候補者がこの制度を公約に掲げました。

高橋清市長が当選しました。高橋市長は、直ちに検討委員会を設け、数カ月で条例化しました。市長就任一年目に、私たちオンブズマンが仕事を始めるという、スピーディーな公約実現でした。全国の自治体に先がけてのオンブズマン制度、やはり首長の決断と実行力があつたからだと思えます。

——市長がオンブズマンを委嘱するのですね。大西さん はい。市議会の同意を得て、市民全体の支持をいただく形になっております。——それ以前は、市民の苦情は、どう扱われていたのでしょうか。大西さん 各区役所の市民相談

行政への苦情、いらつしやい
保育・図書館 女の目で改善させる

市民からの行政に対する苦情を調査し、行政に厳しく是正と工夫を求める「川崎市市民オンブズマン制度」の初代オンブズマンで弁護士の大西千枝子さん（57）。働く母親が出産して、育児休暇を取ると、上の子供が保育園に行けなくなる状況を改善させたり、図書館の開館時間を早めるなど、「女性の視点が光つた」二期六年。「オンブズマンという役目に、自分も育てられました」と静かに振り返る。わが国初のこの制度は一九九〇年秋、注視のなかスタート。市民からの苦情は年平均百五十件で、そのうち申し立てに沿って四割が解決。「市民のプライバシーは守ります。オンブズマンを気軽に利用して」と話す。インタビュアーは椎野和枝さん。

強い調査権と権限 オンブズマン

行政サービス提供の意識薄い

や市長への手紙があり、それぞれ機能しています。オンブズマンは、条例上の強い調査権と勧告や意見表明をする権限が与えられ、より強力・迅速に苦情を処理し行政を是正できるという特徴があります。

市民にとっては、親しめる苦情相談窓口ともいえますね。
大西さん はい。初代オンブズ



マンは、杉山克彦先生、菅野芳彦先生と私の三人でしたが、とにかくどんな問題でも、市民の方に気軽に来ていただいて、十分に話を伺わせていただく、そういう場所にしたと思います。

例えば、だれかが車椅子いすの生活になり、駅まで行けなくて困る。そんなとき、申し立てられるのですか。

大西さん ヘルパーの派遣や福祉キヤブなどの制度がありますので、まず、福祉事務所などで相談され、利用されるとよいと思います。そのとき、職員の対応が不親切であったり、利用できないなど、「おかしい」と思ったら、オンブズマンに申し立ててください。

市民館の夜間利用は九時までですが「延長してほしい」との要望がありますか。

大西さん 調査してみなければ分かりませんが、何であれ申し立ててください。図書館のケースで

は、九四年に「開館時間を早めてほしい」という申し立てがあり、時間をかけて調査し、午前十時開館を九時半に早めることができ、各区の市民館のホール利用申し込み・抽選方法も市民が利用しやすいよう、抜本的に変えていただきました（静かな口調で）。

あれは、オンブズマンの成果だったのですか。

大西さん はい。市民が日ごろ



不便と感じていることを申し立てて下さることは、行政への問題点の指摘として受け止めて調査させていただきます。

行政にモノを言うことを遠慮する市民が多いようですが、市民のための施設が楽しく、気持ちよく使えそうな気がしてきました。

大西さん 企業と比べると、行政の意識は逆転してますね。企業は収益を上げるために、どうサー

大西 千枝子 さん

おおにし・ちえこ=1939年、台湾生まれ。3歳のとき帰国し岡山で育つ。63年、中央大学法学部を卒業。65年、弁護士登録。82年より川崎市法律相談に携わる。85年から10年間、カリタス女子短大非常勤講師。87年から横浜家庭裁判所川崎支部調停委員（現）。90年から6年間、川崎市市民オンブズマン。共著に「現代法学入門」(圭文社)。17年前から麻生区に住む。夫・昭一郎氏（弁護士）二女一男の5人家族。

ビスを提供するかを考えます。そうした問題も申し立てていただければ、新しいオンブズマンが調査いたします。

その調査の仕組みは……。大西さん 各オンブズマンに二人の専門調査員がついていて、まず、申し立てのあった事案について法令関係を調べます。その上で、オンブズマンの指示に基づいて事実を調査します。迅速に、しかも十分に調査を尽くし、最終的な判断をオンブズマンが出すわけです。

印象に残っているケースは。大西さん 初めて私が意見表明



した保育行政の問題ですね。病院で働く女性から「三人目の子供を出産して育児休暇を取ると、保育園に通う二人の子供の保育が継続できなくなる。何とか継続できないか」との申し立てでした。

——働く母親にとって、緊急に解決が求められる問題ですね。

大西さん 保育問題を今の社会の非常に大事な課題と受け止め調査しました。育児休業法が、翌年に施行される時期で、申立人の働く病院では、すでに育児休業制度が実施されていたわけです。

——狭間の時期ですね。

大西さん 法律上、形式的には「保育に欠ける」乳幼児を保育する所が保育所ですから、母親が育児休業で家にいる間は、上の子供に対して保育が可能であり、したがって上の子供たちを保育所に継続して預けることは出来ません。

実情を調べると、その子供たちは朝、勝手に自分たちで保育園に行ってしまうほど、保育園が大好きなのでですね。子供に「一年間だけ、家になさい」というのはおかしな話です。

——一時的にせよ、友達から引き離すことになりませんか。

大西さん 母親にとっても三人目の子供の保育に集中して、仕事に備えるというのが、本来の育児休業の姿ではないかと思いい「何ら

働く母親の願い実現へ意見表明 市は尊重、国も基準見直す

かの形で保育を継続できるように」と、他の問題と合わせて意見表明をしたわけです。

——意見表明は、どの程度の拘束力があるのですか。

大西さん 勧告や意見表明を受けた市の機関は、それを尊重しなければなりません。そのとき、市長は、直ちに調査検討委員会をつくり「私的契約関係で保育を継続する」という結論を迅速に出してくれました。このことは、マスコミ

ミも大きく報道してくれました。その後、厚生省が育児休業法の施行に間に合うように措置の運用基準を変更し「第二子の育児休業をする場合、第一子の保育の継続を可とし、職場復帰するときは、年度途中で保育園が定員オーバーでも受け入れる」という通知を出しました。

——一人の女性の申し立てをオンプズマンが素早く調査して意見表明して、それを川崎市が尊重し

国を動かし厚生省の基準見直しにつながった、とも言えますね。

大西さん 市民に身近な自治体は「こうあるべきだ」と思っている、国の法律は無視できず、動けないことがあるわけですが、わずかながら国を動かした。そういう意味でも、非常に印象に残っております(感慨深げに)。

——勧告と意見表明の違いは。

大西さん 市側が間違っているにもかかわらず、是正しようとし

ない場合は「勧告」という強い形になります。違法ではないけれど、市民のために、こういうふうな制度を改善したほうが望ましいという場合が「意見表明」です。最近では調査の段階で、市が自主的に改善するケースが多くなりました。いくつかの意見表明をしましたが、市長が一〇〇%受け入れる形で改善が行われ、非常に尊重されていると感じました。オンプズマンが機能していくためには、そこが重要なんです。マスコミには、そうしたプロセスの見張り役としての役割を果たしていただきたいと思えます。

——マスコミといえば、新聞が、学校での体罰の問題を大きく取り上げていましたね。

大西さん 制度が発足してすぐに、体罰根絶に向け、学校側の善処を求めた勧告を出しました。その後もこの制度があつて、本当に子供たちが救われたというケースが、いくつもありました。あまりにも深刻な問題やプライバシーにかかわるケースは、報告書に記載しません。

——申立人のプライバシー厳守第一という姿勢ですね。

フライバ シー厳守 申立人の安心感大事に

大西さん はい。だれにも分らないよう、解決してもらえない。その安心感が大事だと思います。

——ところで、オンブズマンは、市長の任命制ですが、独立性は保たれたのでしょうか。

大西さん 条例は「市の機関がオンブズマンの独立性を尊重する」となっています。発足時から運用上で独立性を懸念する声があり、われわれオンブズマン自身、常に「独立性が保障された中で仕事が出来なければ、その役割は果たせない」と自覚していました。現実には、独立性が侵されるような場面は一切ありませんでした。

——オンブズマンの判断が不服の場合、どうするのかという意見もありますか。

大西さん この制度は「オンブズマンが最終判断者」ということなのです。その判断が気に入らなくても、それを受け入れることができる成熟した市民を前提にする制度とされています。判断には無条件で従うルールがあつて、はじめてこの制度は機能するのです。

——だから「オンブズマンになる人間の見識と力量で、この制度の命運が決まる」と言われているのですか。ところで、行政に調査に入ったときの市職員への反応は。

大西さん 重要なポイントです。最初から不信感の塊では行政側も気持ちを開きません。相手の事情や弁明をよく聞き、お互いの信頼関係の保持に努めながら「説得と協力」を行動原理として調査しました。その兼ね合いが難しい部分でした。たぶん、私が「一番きつたのではないのですか(笑)」。

——市民と行政の双方が、この制度を育てているという印象です。外国の制度と比較して、不十分な点や課題はありますか。

市民へ浸透不十分

大西さん 外国の制度も研究した上で作られた条例なので「非常に完成度が高い」と、実際に運用にあたって感じてきました。ただ、オンブズマンという言葉自体が、日本の社会に入ってきて日が浅く、

市民に十分浸透していないことが問題点だと思います。オンブズマン発祥地のスウェーデンのオンブズマンが「自国でも、制度発足から二百年経つて、やっと今の姿になった。川崎市は、たかだか数年少しづつ実績を積んで、浸透させればよい」と話していました。

——個人的な質問で恐縮ですが、家庭と仕事を両立させていますが、夫の協力はいかがですか。

大西さん 根本的なところで、とても支えられましたね。最初に「こんなに大変なお仕事、お受けできない」とウジウジしていました。自分自身がそれにふさわしい人間だなんて思わないこと。仕事が増えてくれるから大丈夫」と言ってくれたのです。この六年、一生懸命やりましたが、「オンブズマンという役目に自分が育てられた」と実感しております。

——弁護士同士のご夫婦、貴重



椎野和枝さん

椎野 和枝 さん

しいの・かづえ=1934年、京都市生まれ。同志社教育、毛利菊枝演劇研究所卒、NHK婦人学級世話人、広島女性史研究会を経て80年から川崎に住み「女性の学習情報をつなぐ会」、東洋大学特別研究会「21世紀の女性」、川崎「ぶらす1」に所属。共著は「山陽路の女たち」テキスト現代女性読本。麻生区白山在住。

なアドバイスでした。

大西さん 主人は、次元の違うところから非常に的確なアドバイスをしてくれますが、日常的な生活面の協力はほとんどゼロといつていいです(苦笑)。

——オンブズマンの経験を、これから生かしていただきたいと思えます。今後の抱負は？

大西さん 何かお役に立てることがあれば協力させていただきます。プライベートルームなことです。主人が社会的に仕事のピーク時を迎えていますので、しばらくは裏方に徹しようかなあと。ごく当たり前の家庭が大切だと感じておりますし、家庭を、きちつとやっていくことも大事業ですから。

題字は高橋清・川崎市長

構成／野々川千恵子

文責／田中 閑

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学び 活動する 生き生きと



マルセ太郎さん
**庶民派芸人に学び
 近況報告で親近感**

あなたは、自分の意思を正確に
 相手に伝える自信がありますか？。
 「麻生表現研究会」 〓 太田陽太郎
 会長(48)ら十三人 〓 は「生活の
 中で、それぞれの『思い』をきち
 んと伝えあい、素晴らしいコミュニ
 の夜、当事業団研修室などで、笑

麻生表現研究会

麻生表現研究会

いと楽しさの学習会」を開く。
 講師はマルセ太郎さん。スクリー
 ンを使わず、映画を再現する新
 しい芸で、映画監督の山田洋次さ
 んを唸らせた芸人さん。
 学習会は、まず、各会員が近況
 を報告しあう。「十五年ぶりで友だ
 ちに会い、その人のお母さんが痴
 呆になり介護。数カ月前、ご主人
 も病に倒れ心身ともに大変。私は
 毎日を楽しく過ごしていると実感
 でも、人ごとではないのね。」「毎
 週、施設の痴呆のお年寄りのボラ
 ンティアしていますが、小説の内
 容が分からなくなり、詩を読んだ
 ら分かりました。この方には、欲
 やミエはなく、純粹そのもの。人
 間の在り方を教えられました」と
 いった調子。

この生活に根差した短い実話が
 「みなさんの顔が見られることが
 楽しい」 〓 斎藤悦子さん(52) 〓
 ことにつながり、会員相互の親近
 感を増す秘訣なのだろう。
 マルセさんの近況報告は、話し
 方や身振り、手振りを学ぶという
 だけでなく「弱者の側に立った物
 の見方」を学習するうえで貴重。
 「初孫に会いに行つたんだ。生ま
 れたての顔はみんな同じで、神の

子に見えた。血縁って何だろう」。
 ひと呼吸おいて「一、三カ月経つ
 と人間の子の顔になるが、赤ちゃ
 んを見ていると、神々しい気持ち
 になり、自然に「神の子を育てな
 ければ」と考える」と現在の愛の
 在り方を問う表情を見せた。
 この後、名画の一シーンをマル
 セさんが再現。会員がそれに続け
 て演じ、真剣な表情と笑いが会場
 を包んだ。

同会の発足は三年前。麻生市民
 館であった「パントマイム教室」
 に参加した市民が、マルセさんの
 芸と人柄に魅せられスタートした。
 西口敏治前会長は「会は月一回
 だが、みんなが和気あいあいとや
 っているのがいい。もう少し会員
 が増えると」と参加を呼び掛ける。
 「感じたことをどう表現するか、
 映画から何を学ぶかなど、刺激を
 受けます」と中島和子さん(47)。
 山縣民子さんは「宮本輝の対談
 集でマルセさんを知り、本人の話
 を聴いてユーモアの大切さを学び
 ました」と明るく表情。

連絡先は ☎(966)2797
 の斎藤悦子さん。

文 / 小誌・田中 園
 カメラ / 小誌・野々川千恵子

はりきってます グループ紹介

国籍超え韓国舞踊楽しむ

サークル・パランセク

サルプリの会

優雅な動きの中に力強さを感じさせる韓国の伝統舞踊。この舞いに魅せられた「サークル・パランセクサルプリの会」の会員七人は、毎週火曜の午後、川崎区桜本のふれあい館で、蒸の入った練習を続けている。

メンバーは在日韓国・朝鮮の二世と日本の女性たち。民族衣装のチマ・チヨゴリに身を包み、基本舞の稽古からスタートする。

音楽が流れ、講師の韓国舞踊家・姜芳江さん(36)が、長鼓(太鼓)をたたいてリズムを取る。

「歩いて歩いて、チャチャチャ」「ハナ、トー、三、四」。日本語とハンブルが入り交じった掛け声に合わせ、踊り手は、足を運び手を動かしてリズムに乗る。体が踊りに慣れたところ古典曲へ。

宮中舞踊「ファガンム」は華麗な群舞。災いを払い除ける意味をもつ「サルプリ」では、白く長い布「スゴン」で魂の喜びや悲しみを表現して舞う。

を表現して舞う。

姜先生が手本を示しながら「はい、もう一回」と練習を繰り返して踊り込む。「ふー」という溜め息を

魂の喜び悲しみ
優雅な舞に託し

漏らす人。思い通りに動かない手足に苦笑いを浮かべる人。背筋をのばして軽やかに舞う人。全員の色に汗がにじみ、真剣で解き放たれたような表情が、とても印象的だ。

同会は、ふれあい館主催の民族文化講座「韓国・朝鮮舞踊」の修了者たちで八年前に発足。練習と発表を通し、地域で国籍を超えた

文化交流を続けている。

姜先生は「韓国舞踊は、手足を体の中心から動かして、波打つような曲線美が特徴で、奥深さが感じられます。年月を重ねて、ゆくりと自分の「味」を出してほしい」と韓国舞踊の素晴らしさを語り、会員を励ます。

在日韓国人二世の崔美子さん(42)は「韓国のリズムに興味を抱き習い始めましたが、自分探しの面もあり、のめり込んでいます。先生の温かい励ましもうれしい」とさわやかに話す。

「違う文化を知り、韓国への理解が深まりました。一生続けたい」と笑顔の明石園子さん(34)。

七年前に結婚のため、日本にきた金敬淑さん(33)は「保育園で自国の舞踊を見たとき、日本の中に韓国文化が存在していると感じ、涙があふれるほど感激しました。小学校二年生の娘と一緒に踊るのが夢なんです」と目を輝かす。

連絡先は、川崎区綱管通一の一の六。☎(3333)6666の車龍仙さん宅。

文／小誌・野々川千恵子
カメラ／小誌・山本 綾子

講座・講演

①テクニカルフォーラムく廃棄物は宝の山②NK市民大学講座く夢をかなえる自動化技術◆市産業振興会館①は1月31日(金)13時から。資源リサイクル社会の実現に向けて」と題し、永田勝也・早稲田大教授が基調講演▽「省資源・循環型都市をめざして」をテーマに佐藤明・横浜市環境事業局長が同市のゴミ減量化・資源化施策を話す▽「市民からみたゴミのリサイクル」をテーマに小澤紀美子・東京学芸大教授が講演ほか。無料。先着3百人②は3月14日(金)13時半から。ロボットはここまで進化した▽生物型システム▽リニアモーターが運ぶ快適な社会をテーマに西村拓一・NKK基盤技術研究所研究員らが講演。無料。先着80人。申し込みは①当日会場で②は1月8日(水)から☎(322)

6062のNKK技術開発本部技術企画部管理室・鈴木さん。①の問い合わせは☎(322)6076の同室・榎本さん。
①わくわく実験教室②やさしい先端技術講座◆東芝科学館①は1月11日(土)「デジタルって何だろう?」▽2月8日(土)「テレビはともだち」をテーマに実験を中心に分かりやすく解説。いずれも10時と13時から②は1月16日(木)10時と13時半から「超電導エネルギー貯蔵システム」と題し、エネルギーの無駄遣いを無くす未来社会に貢献する技術を解説。無料。各250人。申し込みは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

①女性のための木工工作②ワープロ◆市青少年創作センター①は2月7・21日の毎週金曜9時半から、全3回。20人②は2月4日(火)・7日(金)13時半から、全4回。12人。教材費は①千5百円②千2百円。申し込みは1月19日(日)10時に☎(911)1510の同センターへ来館。
「地域消費者問題専門講座」食をめぐる最新の話題から◆黒川崎消費生活センター①1月28日(火)パイオ食品▽30日(木)ビタミン剤、健康補助食品▽2月4日(火)日本食肉流通センター見学会▽6日(木)アルミニウムが脳に及ぼす影響とアルツハイマー病▽7日(金)米問題。いずれも10時から。講師は鎌田博・筑波大生物科学系教授ほか。無料、見学会の交通費は実費。先着80人。事前申し込みで2歳以上の託児あり。申し込みは1月24日(金)までに☎(833)1231内線331の同センター。

「まちをミュージアム◆麻生市民館ほか」1月10日(金)・14日(火)、同館で「わたしの木」写真、スケッチ展▽21日(火)9時45分、柿生駅改札口集合。王禅寺処理センター、ヨネットイー王禅寺を見学し、燃やす工夫、公害対策、廃熱利用を学ぶ▽26日(日)9時半、読売ランド前駅改札口集合。多摩自然遊歩道に沿う残された自然、人の歩みを探訪▽2月23日(日)9時半、百合ヶ丘駅集合。五反田川に沿う津久井往来に関わった人の歩みを探訪。21、26、23日は保険料・資料代3百円。交通費実費。弁当持参。申し込みは☎(951)1300の同館。

「川崎いのちの電話共同研修◆中原市民館ほか武蔵小杉駅周辺」3・4月のおもに水曜18時45分から、全5回。いのちの電話についてのボランティア論、人間理解などの基礎講義。対象は20歳以上。川崎いのちの電話募集の「相談ボランティア」希望者は必修、「奉仕部ボランティア」は参加が望ましい(「催し」欄参照)。受講料5千円。申し込みは1月15日(水)・2月14日(金)に所定の申し込み書を川崎いのちの電話事務局へ郵送。募集要項は各市民館・区役所などで配布中。問い合わせは☎(434)0253の同事務局。
①歌声の広場②VOICETレーニングく水曜・金曜講座③社交ダンス入門◆県立高津青少年会館①は1月9日・3月27日(16日、3月20日を除く)の毎週水曜19時から、全10回②の水曜講座は1月22日・3月26日の毎週、全10回▽金曜講座は1月17日・3月28日の毎週、全1回。いずれも18時半から。発声法の基礎からコーラスに向け③は2月5日・3月5日の毎週水曜19時から、全5回。ブルース、ジルバからワルツのステップ。いずれも対象は青年。各15人。申し込みは☎(844)2101の同館。

「企業が女性活用を考えるとき」就業継続への環境整備◆県川崎北労働センタ

探していた講座がある

学習・文化情報

1月8日(水)から☎(322)

①女性のための木工工作②ワープロ◆市青少年創作センター①は2月7・21日の毎週金曜9時半から、全3回。20人②は2月4日(火)・7日(金)13時半から、全4回。12人。教材費は①千

5百円②千2百円。申し込みは1月19日(日)10時に☎(911)1510の同センターへ来館。
「地域消費者問題専門講座」食をめぐる最新の話題から◆黒川崎消費生活センター①1月28日(火)パイオ食品▽30日(木)ビタミン剤、健康補助食品▽2月4日(火)日本食肉流通センター見学会▽6日(木)アルミニウムが脳に及ぼす影響とアルツハイマー病▽7日(金)米問題。いずれも10時から。講師は鎌田博・筑波大生物科学系教授ほか。無料、見学会の交通費は実費。先着80人。事前申し込みで2歳以上の託児あり。申し込みは1月24日(金)までに☎(833)1231内線331の同センター。

「まちをミュージアム◆麻生市民館ほか」1月10日(金)・14日(火)、同館で「わたしの木」写真、スケッチ展▽21日(火)9時45分、柿生駅改札口集合。王禅寺処理センター、ヨネットイー王禅寺を見学し、燃やす工夫、公害対策、廃熱利用を学ぶ▽26日(日)9時半、読売ランド前駅改札口集合。多摩自然遊歩道に沿う残された自然、人の歩みを探訪▽2月23日(日)9時半、百合ヶ丘駅集合。五反田川に沿う津久井往来に関わった人の歩みを探訪。21、26、23日は保険料・資料代3百円。交通費実費。弁当持参。申し込みは☎(951)1300の同館。

「川崎いのちの電話共同研修◆中原市民館ほか武蔵小杉駅周辺」3・4月のおもに水曜18時45分から、全5回。いのちの電話についてのボランティア論、人間理解などの基礎講義。対象は20歳以上。川崎いのちの電話募集の「相談ボランティア」希望者は必修、「奉仕部ボランティア」は参加が望ましい(「催し」欄参照)。受講料5千円。申し込みは1月15日(水)・2月14日(金)に所定の申し込み書を川崎いのちの電話事務局へ郵送。募集要項は各市民館・区役所などで配布中。問い合わせは☎(434)0253の同事務局。
①歌声の広場②VOICETレーニングく水曜・金曜講座③社交ダンス入門◆県立高津青少年会館①は1月9日・3月27日(16日、3月20日を除く)の毎週水曜19時から、全10回②の水曜講座は1月22日・3月26日の毎週、全10回▽金曜講座は1月17日・3月28日の毎週、全1回。いずれも18時半から。発声法の基礎からコーラスに向け③は2月5日・3月5日の毎週水曜19時から、全5回。ブルース、ジルバからワルツのステップ。いずれも対象は青年。各15人。申し込みは☎(844)2101の同館。

「企業が女性活用を考えるとき」就業継続への環境整備◆県川崎北労働センタ

学習・文化情報

魅力的な講演がある



「1」1月21日(火)14時から。介護休業制度▽セクシユアル・ハラメント▽フレックスタイムについて奥山明良・成城大教授が解説。無料。40人。申し込みは☎(722)0171の同所。

「聖マリアンナ医科大学東横病院市民健康セミナー」ホクロとシミ、悪いホクロと良いホクロ◆市中小企業・婦人会館「2月8日(土)14時から。講師は橋爪鈴男・同院皮膚科部長。写真撮影は前回。無料。先着150人。医師、看護婦、薬剤師による相談コーナーあり。

問い合わせは☎(722)2121内線522の同院庶務課。

「①日本サクラソウの鉢作り講習会②盆栽の手入れ講習会③植物のふやし方講習会◆市緑化センター」①は2月4日(火)②は3月12日(水)③は3月19日(水)13時半から。教材費は①500円②無料③300円。30人(抽選)。申し込みは①1月24日(金)②2月25日(火)③3月5日(水)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区宿河原6の14の1、同センター。☎(911)2177。

「①春季労働講座②男女雇用平等推進啓発」セクハラ講座◆県川崎合同庁舎」①は1月21日(土)30日の毎週火・木曜と、2月5日(水)6日(木)18時半から、全6回。「リストラと労働法」と題し渡寛基・早稲田大講師の講演。他に「川崎の地域経済と最近の労働問題」就業規則改定の方法」など②は2月13日(木)14時から。「企業におけるセクハラ事情」

あなたの会社は、大丈夫ですか?」をテーマに堀静次・経営コンサルタントが基調講演▽かながわ・女のスペース「みずら」の阿部裕子事務局長が事例発表。いずれも無料。50人。申し込みは☎(233)7351内線①284②282の県川崎労働センター。

「①役に立つファッションリフォーム講座②Windows 95初級セミナー◆登戸ドレスメーカー学院」①は1月27日(月)29日(水)13時半から。サイズの直し方▽障害者の着脱しやすい服▽きものをドレスにアレンジなど、アイディアと技術を学ぶ。各日千円。各15人②は2月22日(土)23日(日)13時から、全2回。パソコンの起動から終了まで、基本のアプリケーションソフトについて学ぶ。1万円。25人。申し込みは午前中に☎(911)2221の同院。向ヶ丘遊園駅下車。

「スポーツマツサイジ」理論と技術◆市教育文化会館「3月1日(土)13時半から。スポーツ障害の予防・リハ

ビリに効果的な方法を日本鍼灸理治専門学校講師の溝口秀雪さんが指導。無料。40人(抽選)。申し込みは2月21日(金)までに往復はがき(1人1枚)に住所、氏名、性別、電話番号と、返信用にも郵便番号、住所、氏名を記し〒210川崎区富士見2の1の3、同会館内・市体育館。問い合わせは☎(211)5213の同体育館。

「ワープロ教室◆東芝科学校」2月19日(水)20日(木)9時半から、入門コース▽13時半から、基本コース。1人1台のワープロで指導。教材費千円。先着各10人。申し込みは☎(549)2200の同院。川崎駅からバス。

「歴史講演会」川崎の自然環境と都市化◆市公文書館「3月8日(土)14時から。講師は小川一朗・立正大名誉教授。無料。40人(抽選)。申し込みは2月21日(金)までに同院へ直接来館か、往復はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記し〒211中原区宮内4の1の1、

初めてふれるワープロ講座 III

受講者募集

- 日 時 — 1997年 3月11日(火)~13日(木)午前10時~午後4時
- 会場 — 市教育文化会館学習室 (JR川崎駅から徒歩15分、バスあり)
- 対象/定員 — 市内在住・在勤・在学の方/30人 (定員を超えた場合は抽選)
- 受講料 — 9,000円。他に教材費1,500円
- 使用機種 — NEC PC9801DX-U
- ◆申し込み — 2月21日(金)~28日(金)午前9時~午後5時に ☎(233) 6250
の川崎市生涯学習振興事業団川崎分室 (月曜休み)

学習・文化情報

◆加したい催しがある

同館同講演会担当。☎(733)3933。

「小沢昭一〜明日のこころ◆新百合21ホール」2月6日(木)14時開演。無料。先着4百人。当日12時から整理券を配布。問い合わせは☎(966)6200の川崎新都心街づくり財団内・区民ふれあいセミナー実行季か☎(953)3111

内線218の麻生区役所区政推進課(主催)。会場は新百合ヶ丘駅下車。

「天文講演会「世紀の大彗星あらわれる」◆市青少年科学館」1月25日(土)2月22日(土)3月22日(土)16時半から。観測史上最大級の核をもつヘル・ボップ彗星について国立天文台の波部潤一、福島英雄の両氏が解説。無料。各2百人。申し込みは各回ごとで、往復はがきに参加希望日、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区枳形7-1の2、同館。☎(922)4731。

「文化講座①いけば②油絵③革の華④歌唱指導◆高津市民館」初心者向け①②は2月13日、4月10日の

毎週木曜①13時半から。講師は池坊の西島深華さん②18時から。講師は画行会の古谷忠雄さん。画材持参③④は2月14日、4月4日の毎週金曜18時から。講師は③フラワーデザインの高谷川紫穂さん④アトリエアミティエの笹子まさえさん。各全8回。受講料2千円。①③は教材費8千円。各先着20人。申し込みは1月17日(金)14時に受講料などを添え来館。問い合わせは☎(833)7411の同館内高津区文化協会(主催)。

「①多民族国家ニッポン」沖繩とアイヌ問題を通して考える②ニューカッブルセミナー③子育て交流集会「パパと一緒に遊ぼう」◆高津市民館①は1月18日、3月22日の毎週土曜14時から、全10回。歴史、文化、基地問題、北海道旧土人保護法からアイヌ新法など。料理を作りコンサートも無料。教材費は実費。40人②は2月1、15日の毎週土曜14時から、全3回。「楽しい育児を夫婦で、仲間をテーマにビデオ鑑賞、昨

年度セミナー修了者がアドバイス。対象はこれから親になるカップル。無料。20組③は2月1日(土)「パパの膝で絵本を読もう」15組▽同15日(土)「親子でふれあい遊び」20組。いずれも10時から。対象は1歳以上未就学の子供とその父母。無料。申し込みは①1月8日(水)②③18日(土)の①②10時から③11時から☎(833)7411の同館。



「多摩図書館新館オープン記念人形劇」人形バラエティショー◆多摩市民館」2月15日(土)14時から。「オフイスやまいも」が出演。対象は3歳以上。2百人。親子の参加可。2月1日(土)から☎(935)3400の同図書館で整理券を配布。

「①わら細工「鍋敷き」作り②竹細工「花籠」作り◆日本民家園」①は2月29日の日曜10時から。各20人(抽選)②は3月2、16日の日曜10時から。各30人(抽選)。受講料は教材費込み①5百円②千円。申し込みは①1月19日(日)②2月16日(日)までに往復はがきに住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区枳形7-1の1、同園。☎(922)2181。

「麻生区俳句大会◆麻生文化センター」1月25日(土)13時から。すでに募集した句の入選作の発表と句の披露。当日、席題を正午に発表、投句の締め切りは13時で、参加者全員で20位までを互選し、賞を贈る。参加希望者は水曜日の10、15時に☎(951)1300の同センター内、麻生区文化協会事務局。

「市民の目で見た阪神・淡路大震災写真展◆ブラザ橋」1月11日(土)2月1日(土)9時から。市民から公募した「三宮駅前 そごう」など同震災関係の写真を展示。2年前1月17日、多くの死傷者を出した大震災を風化させないよう学び、考える。問い合わせは☎(788)1531の同所。

「募集①資金ボランティア②奉仕部ボランティア③相談ボランティア◆川崎のちの電話」①は毎年できる範囲で送金し、同電話を資金面から支える。個人の寄付は確定申告、団体・企業は損金として税金の控除が受けられる②はチャリティ・コンサートなど催しの企画・実行、手作りの製作・販売など③は養成研修の全課程を経て認定された後、電話相談を担当。同研修は5月から約1年間で、募集は3月12日(水)19日(水)いずれも無償。交通費実費。「川崎のちの電話」は千人以上のボランティアが市民運動として支え、約20人の電話相談員が年中無休24時間体制で対応している。95年度は約1万8千件の相談があった。問い合わせは☎(434)0253の同電話事務局。(講座・講演「欄」関連記事あり)

「①楽しい料理く軽食とおやつ」写真②ツールペイント③クレイアート◆市青少年創作センター」2月2、23日の毎週日曜①9時半②③13時半から、全4回。対象は①③小中学生②小学

学習・文化情報

おもしろいイベントがある

3年以上。教材費①②2千円③千3百円。定員は①③30人②20人。申し込みは1月19日(日)10時に☎(911)1510の同所へ来館。



「イタリア美術紀行10日間」かわさき市民アカデミー会員の「卒業生」の親睦組織「かわさき市民フロンティア」(岡本善三代表)は、4月2日(水)～11日(金)にローマ、アッシジ、フィレンツェ、ヴェネツィアへ、ルネッサンスの彩りに触れる旅をする。ミケランジェロの「天井画」と「最後の審判」で有名なヴァチカン、システイーナ礼拝堂には、混雑を避け、夜、ゆっくりと講師付きで拝観。費用は38万8千円。申し込み・問い合

わせは☎(411)7773の当事業団学習事業室向河原分室内・同フロンティア。ア。 「たかつ遊友広場」県立高津青少年会館 1月11日(土)2月22日の第2・4土曜9時から、ゲーム、バスル卓球広場▽10時から、クラフト広場。対象は小中高生。先着各10人。参加自由。問い合わせは☎(844)2101の同館。

「チビッコわら細工教室」日本民家園 1月25日(土)2月22日(土)10時から。基本技術を習得。対象は小中高生。無料。先着各10人。申し込みは25日は1月7日(火)、22日は2月1日(土)から☎(922)2181の同園。

「①星を見る夕べ②天体写真撮影会」市青少年科学館 ①は1月11、18日、2月8、15日の土曜17時半から。月、土星、星団を展望。雨、曇りはプラネタリウムで星の話②は2月23日(日)3月23日(日)12時から。太陽を撮影。対象は小学5年以上。先着各14人。一眼レフカメラボディ、フィルム、レリ

ーズ持参。雨天中止。いずれも無料。小学生以下は要保護者。申し込みは②のみで2月は1月26日(日)、3月は2月23日(日)9時から☎(922)4731の同館。

「ミニ観察会」生田緑地 1月19日(日)2月16日(日)の9時から、野鳥観察▽13時半から、地質観察。2月1日(土)13時半から、植物観察。無料。筆記具、図鑑、ルーペ、双眼鏡持参。開始10分前に野鳥観察は同緑地東口駐車場、他は市青少年科学館集合。雨天は野鳥はビデオ鑑賞、他は決行。問い合わせは☎(922)4731の同館。

「新春お楽しみイベント」お年玉プレゼント②ビンゴゲーム③パソコンバスルゲーム◆東芝科学館 1月6日(月)7日(火)①は各日先着百人にランチボックス、ジャンボハンカチなどバックスバーニーグッズをプレゼント②は11時と14時から③は10時と15時から。1ゲーム2分まで1日20ゲームを実施。7日午後はチャンピオン大会。記念品、参加賞を

ギャラリー

贈呈。問い合わせは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

「ギャラリー幸」1月10日(金)～22日(水)、新春ミニ展。油絵、はり絵、和紙で作った立体、兜などはがき大以下の小品展▽2月7日(金)～19日(水)、花の展。春にさきがけ花の写真、絵を展示▽2月21日(金)～24日(月)、京都

「画廊ランブ屋」1月15日(祝)～25日(土)、川上澄生誕百年記念展。日本の創作版画を樹立した作家の木版水彩画70点を展示▽31日(金)～2月7日(金)、オリエントの風創作ニット展。セータ1、コートなど4人の作品30点。☎(945)4416。稲田堤駅下車。

ステージ

「①フィルハーモニック・ピアノトリオ・ベルリン



② 莊村清志ギターリサイタル③ コージーコンサート◆ 靴ホール ①は1月23日(木)19時開演。シューベルト「ピアノ三重奏曲第一番変ロ長調作品99」▽ベートーベン「同第7番変ロ長調作品97」演奏は、リュディガー・リーバーマン(バイオリン)▽クリストフ・イーゲルブリンク(チェロ)▽フィリップ・モル(ピアノ) 写真。全席自由5千円②は2月21日(金)19時開演。タレルガ「アルファンブラの思い出」▽グラナドス「スペイン舞曲第一

学習・文化情報

ききたい音楽がある

番」他。全席自由4千円③は2月11日(祝)14時開演。ピアノ、バイオリン、声楽のアマチュア演奏家が出演。無料。問い合わせは☎(812)6090の同所。溝ノ口駅下車。

「新春ノタンゴとシャンソンの調べ◆高津市民館」1月12日(日)14時開演。出演は紫村千恵子「写真」ほか。無料。チケット・問い合わせは☎(833)7411の同館。



「バロック音楽会」さまざまな装い◆玉川学園礼拝堂「2月1日(土)14時開演。」

会員募集



パイプオルガンと古楽器で奏でる音楽。出演は竹内太郎(リュート・テオルボ)▽神戸榎樹美(ヴィオラ・ダ・ガンバ)▽吉沢実(リコーダー)▽中村岩城(パイプオルガン)。3千円。問い合わせは☎0427(39)8895の玉川大学継続学習センター(主催)。玉川学園前駅からバス。

●川崎市民合唱団《幸区東古市場100、小西乾太郎代表》10代から70代までの男女が、童謡や組曲など幅広いレパートリーを楽しく歌っています。気軽に参加を。毎週火曜19時〜20時50分、幸市民館や京浜急行八丁畷駅付近会場で。入団金千円、月団費二千円。連絡は☎(522)6229代表宅まで。

読者の声

間違いは「おわび」を
幸区鹿島田
諏訪正二さん(77)

11月号編集後記で、Sさ

んが申し込みの際「確認のひとことがあれば」と悔やまれるとのこと。Sさんが何を確認すれば良かったのか。だれしも、御誌に書いてある日時をうのみにして申し込む。記事が違っていたのだから「おわび」をすべきではないのだろうか。

◆編集チームからの返事
諏訪様のご指摘、その通りです。Sさんからお手紙をいただいた翌日に、調査した経過とともに陳謝しております。編集後記で取り上げた真意は、私どもをふくめ公共の仕事に携わる者への戒めと考えたからです。「確認のひとこと」のくだりは、受け付け担当者への注文です。

市民運動の「脊柱」
藤田親昌さん死去

川崎市民運動のバックボーン、藤田親昌さん(92)が11月13日、麻生区細山の自宅で亡くなった。戦時下の言論弾圧「横浜事件」で検挙された体験を基に「市民とは、文化とは」を問い続けてきた。

編集後記

一九九七年は丑年▼牛からは丑年▼牛からは連想するのは高原でゆっくりと草を食むのどかな風景▼丑年にちなんで、長い不況から完全に脱し、政治・経済・市民のくらしが上昇する年であることを期待したい▼しかし「草木も眠る丑三つ時」という言葉もある▼丑三つ時は、いまの午前二時ころの真夜中で、市民のくらしが真っ暗になる年との予感につながる▼消費税が三%から五%へのアップが決まり、健康保険の患者負担増や公共料金値上げも浮上、所得税減税も廃止されそう

だ▼消費税アップによる一世帯当たりの支出増は、年間七〜十数万円で、他の値上げを加えると家計への深刻なトリプルパンチ▼一方、国・地方自治体の借金は四百八十兆円にも上り、国民一人当たりの借金は三百万円を超え、財政が危機的状況にあるのも事実▼この危機は「永続的な日本経済の成長」との神話を作り、国債(借金)によってゼネコン(総合建設業)型公共事業を邁二無二やった側面が大きい▼「右肩上がり」の経済の終焉で、税収の大幅増が見込めなくなり、そのツケを国民に回そうというわけだ▼だが、この程度の消費税アップで財政再建はできず、政府税調の試算でも消費税一八%なのだ▼不要不急のゼネコン型公共事業は「国破れて山河なし」と言われるほどの環境破壊を招いた▼それへの厳粛な反省抜きの財政再建など有り得ない▼永田町では「行政改革」にかしましい▼行革は論じてもゼネコン型公共事業の見直しを論じないのは不思議だ▼橋本内閣は三万三千人の国家公務員を二万人に減らすとの報道もある▼ある財界人は「国の行革の目途をつけたら、地方行革だ」▼厚生省の一連の汚職・不祥事は許せないが、行革には追い風との見方もある▼行革が「福祉も民間に任せろ」方向にならないか危惧する(田)。

《3ページのつづき》

かわさき市民アカデミー'97年4月入会生 募集案内

会員へ応募される方

■講座・演習 3系・10コース

〔研究系〕人間学コース／政治・国際関係コース／経済と環境コース／科学コース

〔表現系〕歴史・自分史コース／音楽コース／朗読のすすめコース

〔生活系〕高齢者福祉コース／居住福祉コース／みどり学コース

■募集定員 各コース20人

■費用 ①入会金2万円(市内在住・在勤者以外は3万円)、会員期間は5年間②受講料は、専攻コースの講座と演習で1学期1万円。選択講座は1講座5千円③入会金と第1学期の受講料は、入会時に一括納入④教材・資料代などは別途自己負担

■申し込み方法 「入会案内」パン

フレットに添付のはがきに必要事項を記し、切手をはって申し込む

■応募期間 2月1日(土)～2月28日(金)で、当日消印有効

■入会案内パンフレット 1月下旬から各区役所・市民館・図書館・スポーツセンター、教育文化会館、中小企業・婦人会館、生涯学習振興事業団などで配布

■結果のお知らせ 応募者が定員を超えた場合は抽選。入会の可否は、3月5日(水)ごろまでに事務局から応募者宅に郵送

■問い合わせ ☎044(422)3932、かわさき市民アカデミー事務局(日曜日は休み)

聴講生へ応募される方

(コースに所属しないで、講座だけを受講したい方が対象)

■聴講できる講座 21講座(裏表紙参照)

■募集定員 各講座とも先着10～30人(会員へ応募された方は、申し込み不要)

■受講料 1講座7千5百円(ただし講座No.6「川崎の自然観察～春・夏

編」は1万5千円、No.17「高齢者福祉～保健・医療の場から」は5千円)

■申し込み方法 3月3日(月)9時から電話で受け付け(先着順で定員になりしだい締め切り)

■申し込み先 かわさき市民アカデミー事務局(日曜休み) ☎044(422)3932へ電話で受け付け

《15ページからのつづき》

開設講座一覧

(4～7月)

◆各講座10～14回。1回の講座時間は1時間20分。

(No.6ま4時間、No.9と20は2時間、No.21は3時間)

No.	講座名	講師	曜	時間	会場
1	時を生きる	哲学者 内山節さん	月	9:30～	中小企業・ 婦人会館 (武蔵小杉)
2	道元～自然としての人間、その生と死(1)	森本和夫 東京大名誉教授	月	11:00～	
3	丸山眞男の世界～日本政治の論理と心理	宮村治雄 都立大教授	月	9:30～	
4	変動するアジアと日本の役割	萩原宣之 獨協大教授	月	11:00～	
5	生活からマスコミを見る	吉見俊哉 東京大助教授	火	10:30～	
6	川崎の自然観察～春・夏編	斎藤博 国立公園指導員	火	10:00～	屋外で
7	水墨画の色彩と構成～山水画の世界	小川裕充 東京大教授	水	10:30～	新百合21ビル
8	朗読の面白さと難しさ～話すときく	江藤文夫 成蹊大名誉教授 他	水	10:30～	中小企業・ 婦人会館
9	川崎の歴史と地誌(1)	村上直 法政大名誉教授 他	水	13:00～	
10	小説の構造	村田経和 学習院大教授 他	木	10:30～	新百合21ビル
11	乗り物の科学～安全であるために	東昭 東京大名誉教授 他	木	10:30～	中小企業・ 婦人会館
12	日本音楽のなぜ～邦楽の魅力と秘密	竹内道敬 国立音楽大教授	木	10:30～	
13	日本人の死生観～文学作品を中心に	立川昭二 北里大客員教授	木	10:30～	
14	21世紀の経済～暮らしと環境を考える	宮川公男 麗澤大教授 他	金	9:30～	
15	地域文化と経済～アジアの多様性	後藤晃 神奈川大教授 他	金	11:00～	
16	生活とはなにか (生活学概論)	一番ヶ瀬康子 東洋大教授 他	金	9:30～	日本女子大学 生涯学習 センター (西生田)
17	高齢者福祉～保健・医療の場から	一番ヶ瀬康子 東洋大教授 他	金	13:20～	
18	居住環境と福祉を考える	小川信子 日本女子大教授	金	13:20～	
19	<small>その</small> 園学 (造園学) 入門	造園設計家 野沢清さん 他	金	10:30～	新百合21ビル
20	自治体・川崎市の基本問題を考える	今井克樹 ジャーナリスト 他	土	10:00～	中小企業・ 婦人会館
21	市民参加のまちづくり～技法と実践	世田谷まちづくりセン タースタッフ 他	土	13:00～	

●発行

電話 (財)川崎市生涯学習振興事業団
044(952)5000代〒215 川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園